

「働く広場」6月号より注目
記事をご紹介します

障害者雇用×農福連携



「働く広場」2026年6月号

このたび、当機構より障害者雇用の啓発誌「働く広場」6月号を発行しました。今号では、「職場ルポ」(4～9ページ)において、「地域農業を支える加工工場 手作業で力発揮」をテーマに奈良県にある(株)パンドラファームグループの取り組みを紹介しています。同社では、農産物の集出荷や選果・選別作業、農産物の加工品販売等を行っており、身体障害や知的障害、精神障害のある従業員を大事な戦力としながら、障害者の働く場を広げる取り組みを進めています。**人材不足でお悩みの企業の皆様、これから障害者雇用を始める、あるいは拡大したいとお考えの採用担当者の皆様、現場のマネージャーの皆様方にとって、再現性のある知見**としてご活用いただける内容だと思えます。ぜひ、ご一読ください。

1.会社概要

- 事業内容:梅・柿などの農産物の生産→加工→流通→販売
- ・生協などへ加工品を出荷
- ・紀伊半島の農業を支える地域共同事業センター
- ・従業員数:117名
- ・**障害のある従業員:6名**
(身体1/知的4/精神1)
- ・**障害者雇用率:5.1%**

2.障害者雇用の特徴

- 手作業中心**の加工工程で活躍できる場が多い
- ・梅干し選別・ラベル貼り・箱詰め・軽作業・農作業補助など
- 安定して働ける理由
- ・ベテラン従業員による丁寧な指導
- ・本人のペースに合わせた作業配置
- ・自然体で見守る職場の雰囲気

3.若者支援・地域連携

- サポステ(地域若者サポートステーション)との連携**
- ・農業体験を延べ80名以上受け入れ
- ・引きこもり体験者の就労につながるケースも
- ジョブコチ(企業在籍型)による定着支援**
- ・元サポステ指導員を採用し、毎月面談
- ・心理面のフォローで職場理解が進む

4.福祉施設との農福連携

- A型事業所「ハートフルコブよしの」と協働**
- ・廃校を活用し干し柿、干し芋、シイタケ栽培を実施
- ・パンドラファームが加工品を提供し、A型事業所で乾燥・販売へ
- ・障害のある人の働く場を地域で創出



(株)パンドラファームグループは、「地域農業を守り、誰もが働ける場をつくる」役割を果たしています。

そのキーワードは



障害者雇用×農福連携



障害者雇用に関してお困りのことがございましたら、当センターまでお気軽にお問合せください。